

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	外国語（英語）Ⅰ・Ⅱ			講 師	図子
対象学年	1	単位数	4	講義形態	講義
1. 講義の目標	英語の文法確認やリーディング・スピーキングを通し様々な場面で自ら英語をアウトプットできることを目標とする。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 事前テスト (3) 基本単語確認 (4) 道案内に関する英語 (5) メールのルールを知ろう (6) 英語でスモールトークができるようになるろう (7) 人の紹介を英語でできるようになるろう (8) 施設の紹介を英語でできるようになるろう (9) 基本文法確認 時制 (10) 長い文章を読んでみよう (11) TOEIC 導入 (12) 単語まとめ演習 (13) 天気についての英語 (14) まとめ、試験対策 (15) 期末試験				
3. 教授法	事前テストを行うことで現在の理解力の確認をする。また、スモールアクティビティやTOEIC問題以外の演習も取り入れることで様々な観点から英語を学ぶ環境づくりをする。				
4. 評価方法	授業出席 50% 授業への参加（発言・課題への取り組み） 25% 期末試験 25% 合計 100%				
5. テキスト	プリントを配布				
6. 参考文献	適宜指定する。				
7. 履修上の留意事項	・ 期末試験を受験しなかった場合は、授業出席、授業参加で合格点でも単位認定は認めない。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科											
科目名	外国語（英語）Ⅲ・Ⅳ			講 師	図子								
対象学年	1	単位数	4	講義形態	講義								
1. 講義の目標	英語の文法確認やリーディング・スピーキングを通し様々な場面で自ら英語をアウトプットできることを目標とする。												
2. 講義内容	(1) 初回オリエンテーション (2) 前期チェックテスト (3) 文法演習 前置詞・接続詞 (4) SNSで使われる英語 (5) 略語・ビジネス英語 (6) 英語で自分の意見を伝えてみよう (7) コロケーション学習 (8) リスニング学習 (9) フォーマル・カジュアルな英語の違いを知ろう (10) 予定を伝える英語を学ぼう (11) 接客英語① (12) 接客英語② (13) 単語まとめ演習 (14) まとめ、試験対策 (15) 期末試験												
3. 教授法	前期の文法項目、単語を確認するために小テストを取り入れる。また実際の試験をイメージできるように試験時間を設けて、点数を出す授業を取り入れる。												
4. 評価方法	<table><tr><td>授業出席</td><td>50%</td></tr><tr><td>授業への参加（発言・課題への取り組み）</td><td>25%</td></tr><tr><td>期末試験</td><td>25%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>					授業出席	50%	授業への参加（発言・課題への取り組み）	25%	期末試験	25%	合計	100%
授業出席	50%												
授業への参加（発言・課題への取り組み）	25%												
期末試験	25%												
合計	100%												
5. テキスト	プリントを配布												
6. 参考文献	適宜指定する。												
7. 履修上の留意事項	・ 期末試験を受験しなかった場合は、授業出席、授業参加で合格点でも単位認定は認めない。												

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	造形基礎Ⅰ			講 師	三上
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	ファインアート専攻・デザイン専攻の各分野において表現技術の基礎に必要な知識と技術を身に付け、各自が各分野の専門家として活躍できる力を身につける。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 各専攻・専門分野：講義（選択制） (3) 各専攻・専門分野：技法・材料講義と解説（選択制） (4) 各専攻・専門分野：作品制作1（コース別課題） (5) 各専攻・専門分野：作品制作2（コース別課題） (6) 各専攻・専門分野：作品制作3（コース別課題） (7) 各専攻・専門分野：講評 (8) 各専攻・専門分野：作品制作4（コース別課題） (9) 各専攻・専門分野：作品制作5（コース別課題） (10) 各専攻・専門分野：作品制作6（コース別課題） (11) 各専攻・専門分野：講評 (12) 各専攻・専門分野：作品制作7（コース別課題） (13) 各専攻・専門分野：作品制作8（コース別課題） (14) 各専攻・専門分野：作品制作9（コース別課題） (15) 各専攻・専門分野：講評				
3. 教授法	各コースに必要な基礎演習を実施する。課題の初めには講義、課題説明等を実施し、個別にデモンストレーションを行いながら作品指導を行う。課題数、講評回数についてはコースの研究内容に合わせて異なる場合がある。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	造形基礎Ⅱ			講 師	三上
対象学年	2	単位数	2	講義形態	講義・実習
1. 講義の目標	ファインアート専攻・デザイン専攻の各分野において表現技術の基礎に必要な知識と技術を身に付け、各自が各分野の専門家として活躍できる力を身につける。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 各専攻・専門分野：作品制作1（コース別課題） (3) 各専攻・専門分野：作品制作2（コース別課題） (4) 各専攻・専門分野：作品制作3（コース別課題） (5) 各専攻・専門分野：講評 (6) 各専攻・専門分野：作品制作4（コース別課題） (7) 各専攻・専門分野：作品制作5（コース別課題） (8) 各専攻・専門分野：作品制作6（コース別課題） (9) 各専攻・専門分野：講評 (10) 各専攻・専門分野：作品制作7（コース別課題） (11) 各専攻・専門分野：作品制作8（コース別課題） (12) 各専攻・専門分野：中間講評 (13) 各専攻・専門分野：作品制作8（コース別課題） (14) 各専攻・専門分野：作品制作9（コース別課題） (15) 各専攻・専門分野：講評				
3. 教授法	各コースに必要な基礎演習を実施する。課題の初めには講義、課題説明等を実施し、個別にデモンストレーションを行いながら作品指導を行う。課題数、講評回数についてはコースの研究内容に合わせて異なる場合がある。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	特別演習Ⅰ			講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	専攻別の実習を基本としながら、絵画表現、視覚デザイン・イラストレーションなどの専門分野を学ぶとともに、色彩学、人物画制作など共通科目として知識を身につける。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション（コース別） (2) 特別演習① 油絵・日本画・デザイン基礎実習1（コース別） (3) 特別演習② 油絵・日本画・デザイン基礎実習2（コース別） (4) 特別演習③ 油絵・日本画・デザイン基礎実習3（コース別） (5) 特別演習④ 油絵・日本画・デザイン基礎実習4（コース別） (6) 特別演習⑤ 絵画表現基礎1・デザイン表現実習1（コース別） (7) 特別演習⑥ 絵画表現基礎2・デザイン表現実習2（コース別） (8) 特別演習⑦ 絵画表現基礎3・デザイン表現実習3（コース別） (9) 特別演習⑧ 色彩学1 (10) 特別演習⑨ 色彩学2 (11) 特別演習⑩ 色彩学3（実習） (12) 特別演習⑪ 色彩学4（実習） (13) 特別演習⑫ 人物画制作・視覚デザイン基礎1（コース別） (14) 特別演習⑬ 人物画制作・視覚デザイン基礎1（コース別） (15) 特別演習⑭ 人物画制作・視覚デザイン基礎1（コース別）				
3. 教授法	各専攻分野に合わせた実習を行いながら、基礎的な技術と知識を身につける。各課題は選択科目になっており、各自が必要に応じた実習を習得することができる。実習課題後は、制作した作品を用い講義を行い、検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 30% 授業参加度、実技作品の成績 70% 合計100%				
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はアーティスト・デザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	特別演習Ⅱ			講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	専攻別の実習を基本としながら、絵画表現、視覚デザイン・総合デザインなどの専門分野を学ぶとともに、色彩学、人物画制作など共通科目として知識を身につける。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション（コース別） (2) 特別演習① 絵画表現実習1・デザイン表現実習1（コース別） (3) 特別演習② 絵画表現実習2・デザイン表現実習2（コース別） (4) 特別演習③ 絵画表現実習3・デザイン表現実習3（コース別） (5) 特別演習④ 絵画表現実習4・デザイン表現実習4（コース別） (6) 特別演習⑤ プレゼンテーション1 (7) 特別演習⑥ プレゼンテーション2 (8) 特別演習⑦ プレゼンテーション3 (9) 特別演習⑧ 油絵・日本画・デザイン実習1（コース別） (10) 特別演習⑨ 油絵・日本画・デザイン実習2（コース別） (11) 特別演習⑩ 油絵・日本画・デザイン実習3（コース別） (12) 特別演習⑪ 油絵・日本画・デザイン実習4（コース別） (13) 特別演習⑫ 絵画1・デザイン1（広告・イラスト・漫画） (14) 特別演習⑬ 絵画2・デザイン2（広告・イラスト・漫画） (15) 特別演習⑭ 絵画3・デザイン3（広告・イラスト・漫画）				
3. 教授法	各専攻分野に合わせた実習を行いながら、基礎的な技術と知識を身につける。各課題は選択科目になっており、各自が必要に応じた実習を習得することができる。実習課題後は、制作した作品を用い講義を行い、検証を行う。授業での質疑応対に積極的に参加することを期待します。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業参加度、実技作品の成績 合計				30% 70% 100%
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はアーティスト・デザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	特別演習Ⅲ			講 師	コース担当
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	油絵・日本画・デザインの各専門的な実習を基本としながら、絵画表現、視覚デザイン・総合デザインなどの専門分野を学ぶとともに、色彩学、人物画制作など共通科目として知識を身につける。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (コース別) (2) 特別演習① 油絵・日本画・デザイン応用実習1 (コース別) (3) 特別演習② 油絵・日本画・デザイン応用実習2 (コース別) (4) 特別演習③ 油絵・日本画・デザイン応用実習3 (コース別) (5) 特別演習④ 油絵・日本画・デザイン応用実習4 (コース別) (6) 特別演習⑤ 油絵・日本画・デザイン応用実習5 (コース別) (7) 特別演習⑥ 油絵・日本画・デザイン応用実習6 (コース別) (8) 特別演習⑦ 絵画表現応用・広告・イラスト・漫画1 (コース別) (9) 特別演習⑧ 絵画表現応用・広告・イラスト・漫画2 (コース別) (10) 特別演習⑨ 絵画表現応用・広告・イラスト・漫画3 (コース別) (11) 特別演習⑩ 絵画表現応用・広告・イラスト・漫画4 (コース別) (12) 特別演習⑪ 人物画制作1・視覚デザイン・総合デザイン応用1 (コース別) (13) 特別演習⑫ 人物画制作1・視覚デザイン・総合デザイン応用2 (コース別) (14) 特別演習⑬ 人物画制作1・視覚デザイン・総合デザイン応用3 (コース別) (15) 特別演習⑭ 人物画制作1・視覚デザイン・総合デザイン応用4 (コース別)				
3. 教授法	各専攻分野に合わせた実習を行いながら、基礎的な技術と知識を身につける。各課題は選択課題になっており、各自が必要に応じた実習を習得することができる。実習課題後は、制作した作品を用い講義を行い、検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業参加度、実技作品の成績				30% 70%
	合計				100%
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	特別演習Ⅳ			講 師	コース担当
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	デザイン系の仕事で重視される構成力、色彩表現力、企画立案、プレゼンテーションを身につける。ポートフォリオ制作によって制作、研究内容が伝わりやすいレイアウト、台割等を学修する。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 特別演習① 油絵・日本画・デザイン応用実習1 (コース別) (3) 特別演習② 油絵・日本画・デザイン応用実習2 (コース別) (4) 特別演習③ 油絵・日本画・デザイン応用実習3 (コース別) (5) 特別演習④ 油絵・日本画・デザイン応用実習4 (コース別) (6) 特別演習⑤ 絵画表現応用・視覚デザイン・総合デザイン応用1 (コース別) (7) 特別演習⑥ 絵画表現応用・視覚デザイン・総合デザイン応用2 (コース別) (8) 特別演習⑦ 絵画表現応用・視覚デザイン・総合デザイン応用3 (コース別) (9) 特別演習⑧ 絵画表現応用・視覚デザイン・総合デザイン応用4 (コース別) (10) 特別演習⑨ 絵画表現応用・視覚デザイン・総合デザイン応用5 (コース別) (11) 特別演習⑩ 絵画表現応用・視覚デザイン・総合デザイン応用6 (コース別) (12) 特別演習⑪ プレゼンボード・ポートフォリオ制作1 (13) 特別演習⑫ プレゼンボード・ポートフォリオ制作2 (14) 特別演習⑬ プレゼンボード・ポートフォリオ制作3 (15) 特別演習⑭ プレゼンボード・ポートフォリオ制作4				
3. 教授法	各専攻分野に合わせた実習を行いながら、基礎的な技術と知識を身につける。各課題は選択課題になっており、各自が必要に応じた実習を習得することができる。実習課題後は、制作した作品を用い講義を行い、検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業参加度、実技作品の成績				30% 70%
	合計				100%
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科		
科目名	異文化コミュニケーション I		講 師	コース担任
対象学年	1	単位数	2	講義形態 実習
1. 講義の目標	授業では、日本文化、異文化を理解をするという目標と異なる文化を持った人とのコミュニケーション方法を考えます。また同時に文化・芸術を理解することにより、世界の人に何を伝え、どう交わるかを考えを学びます。			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 異文化を考える 西洋美術史1 芸術文化の歴史 (3) 異文化を考える 日本美術史2 芸術文化の歴史 (4) 異文化を考える デザイン史3 日本の技術文化歴史 (5) 非言語に関する実技4 (コース別) (6) 非言語に関する実技5 (コース別) (7) 非言語に関する実技6 (コース別) (8) 非言語に関する実技7 (コース別) (9) 非言語に関する実技8 (コース別) (10) 中間発表、中間講評会 (11) 非言語に関する実技10 (コース別) (12) 非言語に関する実技11 (コース別) (13) 非言語に関する実技12 (コース別) (14) 非言語に関する実技13 (コース別) (15) プレゼンテーション・講評会			
3. 教授法	文化・芸術の諸相に関連する歴史、文献を知る。文化と言語の関連の枠組みで異文化を捉え、考察することを目指す。言語、非言語コミュニケーションの相対する立場を考慮しながら、異なる文化背景、歴史的な背景の人々を受け入れることができる素地を養う。講義と演習によって課題を行う。			
4. 評価方法	授業出席と発言 30% 実技作品の成績 70% 合計 100%			
5. テキスト	適宜プリントを配布します。			
6. 参考文献	適宜に指定します。			
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	異文化コミュニケーションⅡ			講 師	コース担任
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	授業では、日本文化、異文化を理解をするという目標と異なる文化を持った人とのコミュニケーション方法を考えます。また同時に文化・芸術を理解することにより、世界の人に何を伝え、どう交わるかを考えを学びます。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 非言語に関する実技（応用）1（コース別） (3) 非言語に関する実技（応用）2（コース別） (4) 非言語に関する実技（応用）3（コース別） (5) 中間発表、中間講評会 (6) 非言語に関する実技（応用）4（コース別） (7) 非言語に関する実技（応用）5（コース別） (8) 非言語に関する実技（応用）6（コース別） (9) プレゼンテーション・講評会 (10) 非言語に関する実技（応用）7（コース別） (11) 非言語に関する実技（応用）8（コース別） (12) 非言語に関する実技（応用）9（コース別） (13) 非言語に関する実技（応用）10（コース別） (14) 非言語に関する実技（応用）11（コース別） (15) プレゼンテーション・講評会				
3. 教授法	前期で学習した文化、歴史の流れの中で、今現在の表現者とし学生が言葉を使用しない伝達を探究する。作品制作を主体としながらプレゼンテーションと講評会の中でのディスカッションにより、自らの意見がアート、デザインという形で伝えられているかを確認する。				
4. 評価方法	授業出席と発言 実技作品の成績 合計			30% 70% 100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科									
科目名	ライフデザインⅠ			講 師	コース担当						
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習						
1. 講義の目標	卒業の進路について考える機会を設け、「自己探求」「内面的豊かさ」「社会的（人間関係的）豊かさ」「文化的豊かさ」などを見直しながら、自らが素養として持っている才能や性格を見つけ出す。										
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) ライフデザイン① 志望理由書とは (3) ライフデザイン② エントリーシートとは (4) ライフデザイン③ 企業を知る (5) ライフデザイン④ 企業を知る (6) ライフデザイン⑤ 求人情報を知る (7) ライフデザイン⑥ 求人情報を知る (8) ライフデザイン⑦ ポートフォリオとは (9) ライフデザイン⑧ ポートフォリオとは (10) ライフデザイン⑨ 面接で問われること (11) ライフデザイン⑩ 面接で問われること (12) ライフデザイン⑪ 就職とは (13) ライフデザイン⑫ 就職とは (14) ライフデザイン⑬ ディスカッションワーク (15) 総評										
3. 教授法	卒業後に自分が何をを目指すのか、または何をやるべきなのか、など自己探求を中心としながら、就職までの流れを理解する。授業では外部の有識者、卒業生を交えたディスカッション、講義などにより、実感を持って学修していく。										
4. 評価方法	<table><tr><td>授業出席と発言</td><td>30%</td></tr><tr><td>授業参加度、実技作品の成績</td><td>70%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>					授業出席と発言	30%	授業参加度、実技作品の成績	70%	合計	100%
授業出席と発言	30%										
授業参加度、実技作品の成績	70%										
合計	100%										
5. テキスト	適宜プリントを配布します。										
6. 参考文献	適宜に指定します。										
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。										

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	ライフデザインⅡ			講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	卒業の進路について考える機会を設け、「自己探求」「内面的豊かさ」「社会的（人間関係的）豊かさ」「文化的豊かさ」などを見直しながら、自らが素養として持っている才能や性格を見つけ出す。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) ライフデザイン① 自分と作品を知る1 (3) ライフデザイン② 自分と作品を知る2 (4) ライフデザイン③ 自分と表現について考える1 (5) ライフデザイン④ 自分と表現について考える2 (6) ライフデザイン⑤ 自分と表現について考える3 (7) ライフデザイン⑥ プレゼンテーション基礎1 (8) ライフデザイン⑦ プレゼンテーション基礎2 (9) ライフデザイン⑧ プレゼンテーション基礎3 (10) ライフデザイン⑨ 写真講義1 (11) ライフデザイン⑩ 写真講義2 (12) ライフデザイン⑪ 写真講義3 (13) ライフデザイン⑫ レイアウトと編集（ポートフォリオ） (14) ライフデザイン⑬ レイアウトと編集（ポートフォリオ） (15) 合同プレゼンテーション				
3. 教授法	卒業後に自分が何をを目指すのか、または何をやるべきなのか、など自己探求を中心としながら、就職までの流れを理解する。授業では外部の有識者、卒業生を交えたディスカッション、講義などにより、実感を持って学修していく。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業参加度、実技作品の成績			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	修了演習			講 師	三上
対象学年	1	単位数	3	講義形態	実習
1. 講義の目標	各専攻の特色と技法などを踏まえ、自らが想像する世界観を表現できる力を養う。また、普段の制作では取り組むことのできない大型の作品や多くの調査を必要とする作品を制作し、自分の可能性を広げることを目標とする。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 実技演習① 作品案検討 (3) 実技演習② プレゼンテーション (4) 作品制作実習③ (5) 作品制作実習④ (6) 作品制作実習⑤ (7) 作品制作実習⑥ (8) 作品制作実習⑦ (9) 作品制作実習⑧ (10) 作品制作実習⑨ (11) 作品制作実習⑩ (12) 作品制作実習⑪ (13) 作品制作実習⑫ (14) 作品制作実習⑬ (15) 講評会				
3. 教授法	各専攻の研究内容にあわせた大型作品制作または個別カリキュラムによる作品制作。2年生に向けて自分の研究主体となるものを選択し、その背景までを含めて調査する。その中から選ばれた要素をもとにして、一つの作品としてまとめる。平面作品、立体作品は問わない。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業参加度、作品提出 合計				30% 70% 100%
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	プレゼンテーション I			講 師	萱沼・小西
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	プレゼンボード制作、ポートフォリオ制作実習を通して、自分の作品・製品のプレゼンテーションを行える力を養う。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) プレゼンテーション① プレゼンテーション講義1 (3) プレゼンテーション② プレゼンボード実習1 (4) プレゼンテーション③ プレゼンボード実習2 (5) プレゼンテーション④ デザイン画1 (6) プレゼンテーション⑤ デザイン画2 (7) プレゼンテーション⑥ 企画・コンセプト実習1 (8) プレゼンテーション⑦ 企画・コンセプト実習2 (9) プレゼンテーション⑧ プレゼンテーション1 (10) プレゼンテーション⑨ プレゼンテーション2 (11) プレゼンテーション⑩ プレゼンボード実習3 (12) プレゼンテーション⑪ プレゼンボード実習4 (13) プレゼンテーション⑫ プレゼンテーション3 (14) プレゼンテーション⑬ プレゼンテーション4 (15) 学期末試験				
3. 教授法	プレゼンボード制作、ポートフォリオ制作実習、PDFやパワーポイントなどの使用方法を学び、効率の良いプレゼンテーション資料制作を学ぶ。また、プレゼンテーションにおける話し方、姿勢など対象が納得出来るロジックを学ぶ。プレゼンテーションでは実習を通して学び、各自検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 期末試験			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科		
科目名	プレゼンテーションⅡ			講 師 萱沼・小西
対象学年	2	単位数	2	講義形態 実習
1. 講義の目標	プレゼンボード制作、ポートフォリオ制作実習を通して、自分の作品・製品のプレゼンテーションを行える力を養う。			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) プレゼンテーション① プレゼンテーション講義1 (3) プレゼンテーション② デザイン画 1 (4) プレゼンテーション③ デザイン画 2 (5) プレゼンテーション④ ポートフォリオ制作 1 (6) プレゼンテーション⑤ ポートフォリオ制作 2 (7) プレゼンテーション⑥ コンセプト実習1 (8) プレゼンテーション⑦ コンセプト実習2 (9) プレゼンテーション⑧ プレゼンテーション1 (10) プレゼンテーション⑨ プレゼンテーション2 (11) プレゼンテーション⑩ ポートフォリオ制作3 (12) プレゼンテーション⑪ ポートフォリオ制作4 (13) プレゼンテーション⑫ プレゼンテーション3 (14) プレゼンテーション⑬ プレゼンテーション4 (15) 学期末試験			
3. 教授法	プレゼンボード制作、ポートフォリオ制作実習、PDFやパワーポイントなどの使用方法を学び、効率の良いプレゼンテーション資料制作を学ぶ。また、プレゼンテーションにおける話し方、姿勢など対象が納得出来るロジックを学ぶ。プレゼンテーションでは実習を通して学び、各自検証を行う。			
4. 評価方法	授業出席と発言 実技作品の成績			30% 70%
	合計			100%
5. テキスト	適宜プリントを配布します。			
6. 参考文献	適宜に指定します。			
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科											
科目名	TOEIC I			講 師	図子								
対象学年	2	単位数	2	講義形態	講義								
1. 講義の目標	TOEIC Listening & Reading Testへの対策を通じて英語の4技能の能力を高める。様々な場面で自ら英語をアウトプットできることを目標とする。												
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 事前テスト (3) 文法演習 品詞① (4) 文法演習 品詞② (5) 演習問題 / Listening PART1 (6) 文法演習 比較① (7) 文法演習 比較② (8) 演習問題 / Listening PART2 (9) PART5 総合演習 (10) PART7 長文演習 / collocation学習① (11) PART7 長文演習 / collocation学習② (12) 同義語演習① (13) 同義語演習② (14) まとめ、試験対策 (15) 期末試験												
3. 教授法	事前テストを行うことで現在の理解力の確認をする。また、スモールアクティビティやTOEIC問題以外の演習も取り入れることで様々な観点から英語を学ぶ環境づくりをする。												
4. 評価方法	<table><tr><td>授業出席</td><td>50%</td></tr><tr><td>授業への参加（発言・課題への取り組み）</td><td>25%</td></tr><tr><td>期末試験</td><td>25%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>					授業出席	50%	授業への参加（発言・課題への取り組み）	25%	期末試験	25%	合計	100%
授業出席	50%												
授業への参加（発言・課題への取り組み）	25%												
期末試験	25%												
合計	100%												
5. テキスト	プリントを配布												
6. 参考文献	適宜指定する。												
7. 履修上の留意事項	・ 期末試験を受験しなかった場合は、授業出席、授業参加で合格点でも単位認定は認めない。												

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科											
科目名	TOEIC II			講 師	図子								
対象学年	2	単位数	2	講義形態	講義								
1. 講義の目標	TOEIC Listening & Reading Testへの対策を通じて英語の4技能の能力を高める。様々な場面で自ら英語をアウトプットできることを目標とする。												
2. 講義内容	(1) 初回オリエンテーション (2) 前期チェックテスト (3) 文法演習 前置詞・接続詞① (4) 文法演習 前置詞・接続詞② (5) 演習問題 / Listening PART3 (6) 単語演習① (7) 単語演習② (8) 演習問題 / Listening PART4 (9) PART5 総合演習 (10) PART6 / 接続副詞 (11) PART6 / 読解 (12) Listening 総合演習 (13) Reading 総合演習 (14) まとめ、試験対策 (15) 期末試験												
3. 教授法	前期の文法項目、単語を確認するために小テストを取り入れる。また実際の試験をイメージできるように試験時間を設けて、点数を出す授業を取り入れる。												
4. 評価方法	<table><tr><td>授業出席</td><td>50%</td></tr><tr><td>授業への参加（発言・課題への取り組み）</td><td>25%</td></tr><tr><td>期末試験</td><td>25%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>					授業出席	50%	授業への参加（発言・課題への取り組み）	25%	期末試験	25%	合計	100%
授業出席	50%												
授業への参加（発言・課題への取り組み）	25%												
期末試験	25%												
合計	100%												
5. テキスト	プリントを配布												
6. 参考文献	適宜指定する。												
7. 履修上の留意事項	・ 期末試験を受験しなかった場合は、授業出席、授業参加で合格点でも単位認定は認めない。												

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	キャリアデザインⅠ			講 師	三上
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	美術によって人生を描き、造形などを通じて自己表現を実現していくことを目指す。造形制作の中から「内面的豊かさ」「社会的豊かさ」「文化的豊かさ」「自然的豊かさ」を導き出し、その中に自己があることに気づくことを目的としています。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) キャリアデザイン1 個別面談（自己分析・自分の強み） (3) キャリアデザイン2 志望理由書（エントリーシート）の書き方 (4) キャリアデザイン3 ポートフォリオとは (5) キャリアデザイン4 ポートフォリオに求められていること (6) キャリアデザイン5 写真加工・AIの使用方法 (7) キャリアデザイン6 写真加工・AIの使用方法 (8) キャリアデザイン7 マナー講習 (9) キャリアデザイン8 面接練習 (10) キャリアデザイン9 面接練習 (11) キャリアデザイン10 面接練習 (12) キャリアデザイン11 プレゼンテーション講習 (13) キャリアデザイン12 プレゼンテーション (14) キャリアデザイン13 プレゼンテーション (15) キャリアデザイン14 プレゼンテーション				
3. 教授法	個別面談を通して、自己分析を行いながらエントリーシートを作成し、自身のことを伝えるポートフォリオに繋げる。自分に足りない部分、満たしている部分を明らかにしポートフォリオ作成に役立てる。また、自分自身を伝える手段を面接練習を通して理解する。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業参加度、実技作品の成績			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	キャリアデザインⅡ			講 師	三上
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	美術によって人生を描き、造形などを通じて自己表現を実現していくことを目指す。造形制作の中から「内面的豊かさ」「社会的豊かさ」「文化的豊かさ」「自然的豊かさ」を導き出し、その中に自己があることに気づくことを目的としています。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) キャリアデザイン10 面接練習（ブラッシュアップ） (3) キャリアデザイン11 面接練習（ブラッシュアップ） (4) キャリアデザイン12 面接に使用する制作物指導 (5) キャリアデザイン11 面接練習（集団） (6) キャリアデザイン12 面接練習（集団） (7) キャリアデザイン12 プレゼンテーション（ブラッシュアップ） (8) キャリアデザイン13 プレゼンテーション（ブラッシュアップ） (9) キャリアデザイン⑧ プレゼンテーションに使用する制作物指導 (10) キャリアデザイン⑨ 作品プレゼンテーション (11) キャリアデザイン⑨ 作品プレゼンテーション (12) キャリアデザイン⑪ 面接練習（個別） (13) キャリアデザイン⑪ 面接練習（個別） (14) キャリアデザイン⑪ 面接練習（個別） (15) キャリアデザイン⑪ 面接練習（個別）				
3. 教授法	個別面談を通して、自己分析を行いながらエントリーシートを作成し、自身のことを伝えるポートフォリオに繋げる。自分に足りない部分、満たしている部分を明らかにしポートフォリオ作成に役立てる。また、自分自身を伝える手段を面接練習を通して理解する。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業参加度、実技作品の成績			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際国際コミュニケーション学科			
科目名	卒業演習			講 師	三上
対象学年	2	単位数	3	講義形態	実習
1. 講義の目標	各専攻の特色と技法などを踏まえ、自らが想像する世界観を表現できる力を養う。また、普段の制作では取り組むことのできない大型の作品や多くの調査を必要とする作品を制作し、自分の可能性を広げることを目標とする。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 実技演習① 作品案検討 (3) 実技演習② プレゼンテーション (4) 作品制作実習③ (5) 作品制作実習④ (6) 作品制作実習⑤ (7) 作品制作実習⑥ (8) 作品制作実習⑦ (9) 作品制作実習⑧ (10) 作品制作実習⑨ (11) 作品制作実習⑩ (12) 作品制作実習⑪ (13) 作品制作実習⑫ (14) 作品制作実習⑬ (15) 講評会（作品展示）				
3. 教授法	各専攻の研究内容にあわせた大型作品制作または個別カリキュラムによる作品制作。2年生に向けて自分の研究主体となるものを選択し、その背景までを含めて調査する。その中から選ばれた要素をもとにして、一つの作品としてまとめ上げる。平面作品、立体作品は問わない。作品は、外部美術館等で展示を行い、展示会場の設営、運営、解説までを行う。平面作品、立体作品は問わない。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業参加度、作品提出 合計			30% 70% 100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	異文化理解 I			講 師	梅田
対象学年	1	単位数	2	講義形態	講義
1. 講義の目標	本授業は日本の文化について歴史的な視点から学び「日本らしさ」の一端を理解することが目的である。日本文化は歴史的にみると、国内の社会構造の変化や大陸などからの外来文化の流入な様々な要因によって変化してきた。そして、各時代に代表的な文化財を残している。つまり、日本文化は時代に応じて緩やかに変化しており、その過程で異文化を上手く受け入れ、自国文化と融合させ、発展させてきたのである。そこで本授業では、日本文化の形成過程を歴史的な流れに沿って学ぶことで、現在の日本文化の基礎が作られる過程を学ぶことを目指す。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 日本文化の歴史的形成の過程 (3) 日本社会の歴史的変化 (4) 江戸の形成 (5) 祭り (6) 歌舞伎 (7) 和暦 (8) 日本の年中行事 (9) 世界遺産 (10) 刀 (11) 日本の中の比較文化 (12) 映像 (1) (13) 映像 (2) (14) 復習 (1) (15) 復習 (2)				
3. 到達目標	① 日本文化の形成の過程を歴史的視点から理解する ② 日本文化と問われた際、自身なりの答えを言えるようになる				
4. 評価方法	授業参加度（出席、授業中の発言等）			50%	
	期末試験			50%	
	合計			100%	
5. テキスト	特定の教科書等は使用せず、必要に応じてレジュメなどを配布する。				
6. 履修上の留意事項	担当教員は実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科		
科目名	異文化理解Ⅱ			講 師 梅田
対象学年	1	単位数	2	講義形態 講義
1. 講義の目標	本授業は、日本らしいと言われるものを取り上げ、主に、歴史的な経緯を踏まえながら理解を深めることを目的とする。「日本らしさ」、「日本らしいもの」と言われた際、思いつくものはあるものの、その背景などについては理解していないこともある。そこで、日本らしいと言われるものを改めて学ぶことによって、日本の文化について改めて考えることを目指す。			
2. 講義内容	(1) 家紋 (2) 家族 (3) オタク (4) キャッシュレス社会 (5) 組織文化 (6) 都市形成 (7) 住宅事情 (8) 武道 (9) 笑い (10) 日本の中の比較文化 (11) 家族 (12) 映画から見る日本（1） (13) 映画から見る日本（2） (14) 復習 (15) 期末試験			
3. 到達目標	① 現代の日本社会の形成のプロセスを理解する ② 現代の日本社会における「日本らしさ」を自身なりの答えを言えるようになる			
4. 評価方法	授業参加度（出席、授業中の発言等） 期末試験 合計			50% 50% 100%
5. テキスト	特定の教科書等は使用せず、必要に応じてレジュメなどを配布する。			
6. 履修上の留意事項	担当教員は実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科		
科目名	イラストレーションⅠ			講師 柳田・木南
対象学年	2	単位数	2	講義形態 実習
1. 講義の目標	現在の情報化社会では、文字情報を補助するイラストレーションなどが多く利用されている。そして、この図形、絵による視覚情報がこれからのデザインにおいて重要であることを理解、表現できることを目標とする。			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 西洋美術歴史（またはイラストレーション史） (3) 絵画とイラストレーション (4) デッサン（鉛筆or木炭） 1 (5) デッサン（鉛筆or木炭） 2 (6) デッサン（鉛筆or木炭） 3 (7) プレゼンテーションと講評会 (8) 色彩による表現研究 1 (9) 色彩による表現研究 2 (10) 色彩による表現研究 3 (11) プレゼンテーションと講評会 (12) 作品制作（画材自由） 1 (13) 作品制作（画材自由） 2 (14) 作品制作（画材自由） 3 (15) プレゼンテーションと講評会□			
3. 教授法	西洋絵画の歴史、絵画とイラストレーションの役割と違いについて理解する。その上で、技法と表現の自由度の中から個人のオリジナリティー溢れる作品を生み出すための演習課題をこなしていく。			
4. 評価方法	授業出席			30%
	授業への参加(発言・課題への取り組み)			70%
	合計			100%
5. テキスト	プリントを配布			
6. 履修上の留意事項	・ 授業は座学と自習の組み合わせで行う。 ・ 必ず実習のための画材、エスキース帳は用意すること。 ・ 担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	イラストレーションⅡ			講 師	柳田・仲間
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	現在の情報化社会では、文字情報を補助するイラストレーションなどが多く利用されている。そして、この図形、絵による視覚情報がこれからのデザインにおいて重要であることを理解、表現できることを目標とする。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 絵と表現の関係性1 (3) 絵と表現の関係性2 (4) 絵と表現の関係性3 (5) 絵と表現の関係性4 (6) プレゼンテーションと講評会 (7) 作品制作（画材自由）1 (8) 作品制作（画材自由）2 (9) 作品制作（画材自由）3 (10) 作品制作（画材自由）4 (11) 中間講評会 (12) 作品制作（画材自由）5 (13) 作品制作（画材自由）6 (14) 作品制作（画材自由）7 (15) プレゼンテーションと講評会□				
3. 教授法	絵を表現するための様々な技法と表現は、自分が伝えたいメッセージと深い関わりがあることを知る。これらの表現が個人のオリジナリティーに繋がるとともに、AIでは生み出すことができないこれまでにない新しい作品をに繋げることを学ぶ。				
4. 評価方法	授業出席			30%	
	授業への参加(発言・課題への取り組み)			70%	
	合計			100%	
5. テキスト	プリントを配布				
6. 履修上の留意事項	・ 授業は座学と自習の組み合わせで行う。 ・ 必ず実習のための画材、エスキース帳は用意すること。 ・ 担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科		
科目名	就職対策Ⅲ			講 師 三上・柳田
対象学年	2	単位数	2	講義形態 実習
1. 講義の目標	アーティスト活動のための準備、展示企画能力、履歴書、面接対策、志望理由書、企画立案を身につける。就職では、企画力・プレゼンテーション力が大きなポイントとなるため、プレゼン能力、面接の基本動作、志望理由書の記入方法などを学ぶ。			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 就職対策① 企業説明会 (3) 就職対策② 就職について・エントリーシートの書き方 (4) 就職対策③ 自己分析 (5) 就職対策④ 求人票の見方と企業との相性 (6) 就職対策⑤ ポートフォリオ作成・個別就職相談 (7) 就職対策⑥ ポートフォリオ作成・個別就職相談 (8) 就職対策⑦ ポートフォリオ作成・個別就職相談 (9) 就職対策⑧ 企業説明会（採用説明会） (10) 就職対策⑨ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (11) 就職対策⑩ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (12) 就職対策⑪ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (13) 就職対策⑫ リスタート講習会 (14) 就職対策⑬ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (15) 就職対策⑭ 総括と講義			
3. 教授法	デザイン系就職活動、試験内容の講義。専門職の企業による企業説明会を実施することで就職活動のきっかけとする。またポートフォリオ作成のためのヒントとなる資料の配布、実際の採用作品を使用し、デザイナーとしての総合力の習得を目指す。面接練習ではプレゼンテーション形式を加えながらより実際に近い状況での練習を行う。			
4. 評価方法	授業出席と発言 実技作品の成績			30% 70%
	合計			100%
5. テキスト	適宜プリントを配布します。			
6. 参考文献	適宜に指定します。			
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	就職対策Ⅳ			講 師	三上・柳田
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	アーティスト活動のための準備、展示企画能力、履歴書、面接対策、志望理由書、企画立案を身につける。就職では、企画力・プレゼンテーション力が大きなポイントとなるため、プレゼン能力、面接の基本動作、志望理由書の記入方法などを学ぶ。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 就職対策① 面接対策実習1 (3) 就職対策② 面接対策実習2 (4) 就職対策③ 面接対策実習3 (5) 就職対策④ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (6) 就職対策⑤ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (7) 就職対策⑥ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (8) 就職対策⑦ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (9) 就職対策⑧ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (10) 就職対策⑨ ポートフォリオ作成・個別就職相談・面接練習 (11) 就職対策⑩ 企業講演 (12) 就職対策⑪ デザイナー講演会 (13) 就職対策⑫ 個別就職相談・面接練習 (14) 就職対策⑬ 個別就職相談・面接練習 (15) 就職対策⑭ 個別就職相談・面接練習				
3. 教授法	デザイン系就職活動、試験内容の講義。専門職の企業による企業説明会を実施することで就職活動のきっかけとする。またポートフォリオ作成のためのヒントとなる資料の配布、実際の採用作品を使用し、デザイナーとしての総合力の習得を目指す。面接練習ではプレゼンテーション形式を加えながらより実際に近い状況での練習を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 実技作品の成績			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	課題研究Ⅰ			講 師	コース担任
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	本講義ではファインアート専攻、デザイン専攻の各コースの学生たちが、学校近隣を取材、または写生を行い、自らの目で発見したことから社会問題、または新しい取り組み、表現媒体の研究などの研究内容を取り上げることを目標とする。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション（デザインはブランディング） (2) 取材・調査（学校近隣の取材）1 (3) 取材・調査（学校近隣の取材）2 (4) 取材内容のエスキース・ドローイングの発表 (5) 作品制作ワーク1（プロトタイプ・エスキースの作成） (6) 作品制作ワーク2（プロトタイプ・エスキースの作成） (7) 作品制作ワーク3（プロトタイプ・エスキースの作成） (8) 作品制作1 (9) 作品制作2 (10) 作品制作3 (11) 中間講評会 (12) 作品制作4 (13) 作品制作5 (14) 作品制作6 (15) プレゼンテーションと講評会				
3. 教授法	コース別課題。普段見落としていることを自らが発見し、そこから考えることができる力を養う。ネットの情報に頼ることなく自らの足で取材、調査を実施し、目で感じたものを形にする。作品は最終プレゼンテーション、講評会によって成果を発表し、表現力と情報伝達能力を養う。実習課題後は、各自作品の検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	課題研究Ⅱ			講 師	コース担任
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	本講義ではファインアート専攻、デザイン専攻の各コースの学生たちが、学校近隣を取材、または写生を行い、自らの目で発見したことから社会問題、または新しい取り組み、表現媒体の研究などの研究内容を取り上げることを目標とする。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション（デザインはブランディング） (2) 取材・調査（学校近隣の取材）1 (3) 取材・調査（学校近隣の取材）2 (4) 取材内容のエスキース・ドローイングの発表 (5) 作品制作ワーク1（プロトタイプ・エスキースの作成） (6) 作品制作ワーク2（プロトタイプ・エスキースの作成） (7) 作品制作ワーク3（プロトタイプ・エスキースの作成） (8) 作品制作1 (9) 作品制作2 (10) 作品制作3 (11) 中間講評会 (12) 作品制作4 (13) 作品制作5 (14) 作品制作6 (15) プレゼンテーションと講評会				
3. 教授法	コース別課題。普段見落としていることを自らが発見し、そこら考えることができる力を養う。ネットの情報に頼ることなく自らの足で取材、調査を実施し、目で感じたものを形にする。作品は最終プレゼンテーション、講評会によって成果を発表し、表現力と情報伝達能力を養う。実習課題後は、各自作品の検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科		
科目名	課題研究Ⅲ			講師 藤賀・小西
対象学年	2	単位数	2	講義形態 実習
1. 講義の目標	本講義ではファインアート専攻、デザイン専攻の各コースの学生たちが、自らで社会問題、または新しい取り組み、表現媒体の研究などの研究内容を取り上げ、その課題に対して取り組み、解決する道を見つけ出すことを目標とする。			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 取材・調査1 (3) 取材・調査2 (4) 取材内容の発表、およびプレゼンテーション (5) 作品制作ワーク1（プロトタイプ・エスキースの作成） (6) 作品制作ワーク2（プロトタイプ・エスキースの作成） (7) 作品制作ワーク3（プロトタイプ・エスキースの作成） (8) 作品制作1 (9) 作品制作2 (10) 作品制作3 (11) 中間講評会 (12) 作品制作4 (13) 作品制作5 (14) 作品制作6 (15) プレゼンテーションと講評会			
3. 教授法	コース別課題。自らが考える課題に対して、取材、調査を実施し、ネット上で見られる答えではなく、自らの目で感じたものを作品という形にする。作品は最終プレゼンテーション、講評会によって成果を発表し、表現力と情報伝達能力を養う。実習課題後は、各自作品の検証を行う。			
4. 評価方法	授業出席と発言			

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科									
科目名	課題研究Ⅳ			講 師	藤賀・小西						
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習						
1. 講義の目標	本講義ではファインアート専攻、デザイン専攻の各コースの学生たちが、自らが社会問題、または新しい取り組み、表現媒体の研究などの研究内容を取り上げ、その課題に対して取り組み、解決する道を見つけ出すことを目標とする。										
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 取材・調査1 (3) 取材・調査2 (4) 取材内容の発表、およびプレゼンテーション (5) 作品制作ワーク1（プロトタイプ・エスキースの作成） (6) 作品制作ワーク2（プロトタイプ・エスキースの作成） (7) 作品制作ワーク3（プロトタイプ・エスキースの作成） (8) 作品制作1 (9) 作品制作2 (10) 作品制作3 (11) 中間講評会 (12) 作品制作4 (13) 作品制作5 (14) 作品制作6 (15) プレゼンテーションと講評会										
3. 教授法	コース別課題。自らが考える課題に対して、取材、調査を実施し、ネット上で見られる答えではなく、自らの目で感じたものを作品という形にする。作品は最終プレゼンテーション、講評会によって成果を発表し、表現力と情報伝達能力を養う。実習課題後は、各自作品の検証を行う。										
4. 評価方法	<table><tr><td>授業出席と発言</td><td>30%</td></tr><tr><td>授業中の参加度、課題提出</td><td>70%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>					授業出席と発言	30%	授業中の参加度、課題提出	70%	合計	100%
授業出席と発言	30%										
授業中の参加度、課題提出	70%										
合計	100%										
5. テキスト	適宜プリントを配布します。										
6. 参考文献	適宜に指定します。										
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。										

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	フィールドワークⅠ			講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	アートフィールドワーク分野を研究する。クロッキー力、ドローイング、観察力を身につけることに主眼を置きながら、フィールドワークを学ぶ。また、美術的、文化的な内容を考え、様々なデッサンや絵画の手法を用いてコミュニケーションをとることを学ぶ。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) フィールドワーク① アートフィールドワーク解説 (3) フィールドワーク② クロッキー力（速写）を身につける (4) フィールドワーク③ クロッキー力（速写）を身につける (5) フィールドワーク④ 取材方法論 (6) フィールドワーク⑤ 表現と実習 1 (7) フィールドワーク⑥ 表現と実習 2 (8) フィールドワーク⑦ 実習 3（プレゼンテーション講評） (9) フィールドワーク⑧ ドローイング 1 (10) フィールドワーク⑨ ドローイング 2 (11) フィールドワーク⑩ 観察と実習 1 (12) フィールドワーク⑪ 観察と実習 2 (13) フィールドワーク⑫ 観察と実習 3 (14) フィールドワーク⑬ 観察と実習 4 (15) フィールドワーク 14 実習・講評				
3. 教授法	アートフィールドワークに関する講義。配布プリント、実際の作品を使用し、観察と表現、技法によって得た情報を図形化する試みと考察を加えることを目指す。プレゼンテーション形式の講評会によって、表現力と情報伝達能力を養う。講義と実習によって課題を行う。実習課題後は、作品の講評会を行い、検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 30% 授業参加度、提出作品の成績 70% 合計100%				
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	フィールドワークⅡ			講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	アートフィールドワーク分野を研究する。クロッキー力、観察力を身につけることに主眼を置きながら、フィールドワークを学ぶ。また、美術的、文化的な内容を考え、様々なデッサンや絵画的手法を用いてコミュニケーションをとることを学ぶ。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) フィールドワーク⑭ ドローイング解説 (3) フィールドワーク⑮ デッサン・ドローイング実習 (4) フィールドワーク⑯ デッサン・ドローイング実習 (5) フィールドワーク⑰ ドローイングと取材 (6) フィールドワーク⑱ 屋外取材実習 (7) フィールドワーク⑲ 屋外取材実習 (8) フィールドワーク⑳ 写生またはドローイングと作品制作 (9) フィールドワーク㉑ 作品制作 (10) フィールドワーク㉒ 作品制作 (11) フィールドワーク㉓ 作品プレゼンテーション・講評 (12) フィールドワーク㉔ 実習 (13) フィールドワーク㉕ 実習 (14) フィールドワーク㉖ 実習 (15) フィールドワーク27 実習・講評				
3. 教授法	ドローイングに関する講義。配布プリント、実際の作品を使用し、表現について考える。短い時間で自分のイメージを図形化する試みと考察を加えることを目指す。プレゼンテーション形式の講評会によって、表現力と情報伝達能力を養う。講義と実習によって課題を行う。実習課題後は、作品の講評会を行い、検証を行う。授業での質疑応対に積極的に参加することを期待します。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業参加度、提出作品の成績			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科		
科目名	プロジェクト研究 I		講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態 実習
1. 講義の目標	各専攻の専門分野に合わせた個別カリキュラムと面談によって、自分だけのカリキュラムを作成し、各自の能力を磨く。自分の研究分野に合わせて必要な実技制作と技法研究を行うことでクリエイターとしての力を磨く			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) プロジェクト研究① 個別課題によるカリキュラム実習1 (3) プロジェクト研究② 個別課題によるカリキュラム実習2 (4) プロジェクト研究③ 個別課題によるカリキュラム実習3 (5) プロジェクト研究④ 中間作品プレゼンテーション (6) プロジェクト研究⑤ 個別課題によるカリキュラム実習4 (7) プロジェクト研究⑥ 個別課題によるカリキュラム実習5 (8) プロジェクト研究⑦ 個別課題によるカリキュラム実習6 (9) プロジェクト研究⑧ 作品発表・プレゼンテーション (10) プロジェクト研究⑨ 個別課題によるカリキュラム実習7 (11) プロジェクト研究⑩ 個別課題によるカリキュラム実習8 (12) プロジェクト研究⑪ 個別課題によるカリキュラム実習9 (13) プロジェクト研究⑫ 個別課題によるカリキュラム実習10 (14) プロジェクト研究⑬ 個別課題によるカリキュラム実習11 (15) プロジェクト研究⑭ 作品発表・プレゼンテーション			
3. 教授法	専攻別による個別課題カリキュラム。各個人が社会問題をはじめとした研究課題を検討し、作品を制作する。各担任が学生一人一人に合わせてカリキュラムを作成することで、個人の制作に対する問題点を明らかにしながら、課題を進める。実習課題後は、各自作品のプレゼンテーションにより検証を行う。			
4. 評価方法	授業出席と発言 30% 授業中の課題提出 70% 合計 100%			
5. テキスト	適宜プリントを配布します。			
6. 参考文献	適宜に指定します。			
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	プロジェクト研究Ⅱ			講 師	コース担当
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	各専攻の専門分野に合わせた個別カリキュラムと面談によって、自分だけのカリキュラムを作成し、各自の能力を磨く。自分の研究分野に合わせて必要な実技制作と技法研究を行うことでクリエイターとしての力を磨く				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) プロジェクト研究① 個別課題によるカリキュラム実習1 (3) プロジェクト研究② 個別課題によるカリキュラム実習2 (4) プロジェクト研究③ 個別課題によるカリキュラム実習3 (5) プロジェクト研究④ 中間作品プレゼンテーション (6) プロジェクト研究⑤ 個別課題によるカリキュラム実習4 (7) プロジェクト研究⑥ 個別課題によるカリキュラム実習5 (8) プロジェクト研究⑦ 個別課題によるカリキュラム実習6 (9) プロジェクト研究⑧ 作品発表・プレゼンテーション (10) プロジェクト研究⑨ 個別課題によるカリキュラム実習7 (11) プロジェクト研究⑩ 個別課題によるカリキュラム実習8 (12) プロジェクト研究⑪ 個別課題によるカリキュラム実習9 (13) プロジェクト研究⑫ 個別課題によるカリキュラム実習10 (14) プロジェクト研究⑬ 個別課題によるカリキュラム実習11 (15) プロジェクト研究⑭ 作品発表・プレゼンテーション				
3. 教授法	専攻別による個別課題カリキュラム。各個人が社会問題をはじめとした研究課題を検討し、作品を制作する。各担任が学生一人一人に合わせてカリキュラムを作成することで、個人の制作に対する問題点を明らかにしながら、課題を進める。実習課題後は、各自作品のプレゼンテーションにより検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言				

2026年度	集中	国際コミュニケーション学科			
科目名	技法材料研究（集中講義）			講 師	各コース担任
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	各コースにおける絵画表現（油彩、岩絵具）、またはデザインにおける印刷表現、アナログによる表現技法を習得することを目的とする。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) ドローイングによる技法研究1 (3) ドローイングによる技法研究2 (4) ドローイングによる技法研究3 (5) プレゼンテーションと講評 (6) 技法材料研究講義 (7) 各コースごとの専門的な材料の研究1（デジタル表現も含む） (8) 各コースごとの専門的な材料の研究2（デジタル表現も含む） (9) 各コースごとの専門的な材料の研究3（デジタル表現も含む） (10) 各コースごとの専門的な材料の研究4（デジタル表現も含む） (11) プレゼンテーションと講評 (12) 作品制作1 (13) 作品制作2 (14) 作品制作3 (15) プレゼンテーションと講評				
3. 教授法	ドローイングによる演習によって、材料と表現の可能性を知る。また、外部の職人、または企業、有識者による講義、実演を通して現在における素材表現について知る。最終的には自身の作品に応用できる力を身につける。				
4. 評価方法	授業出席と発言 50% 出席 50% 合計 100%				
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	集中	国際コミュニケーション学科			
科目名	技法材料研究（集中講義）			講師	各コース担任
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	アートがセラピーの一部として芸術の創作活動自体を癒しとして扱う効果を踏まえて、アートセラピー実習を通してその効果とワークショップ例を体験しながらその可能性を探る。（客員講師 有賀三夏先生と合同授業）				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 技法材料研究講義（外部有識者による講義、または実演） (3) 各コースごとの専門的な材料の研究5（デジタル表現も含む） (4) 各コースごとの専門的な材料の研究6（デジタル表現も含む） (5) 各コースごとの専門的な材料の研究7（デジタル表現も含む） (6) プレゼンテーションと講評・発表 (7) 実例検証③ (8) 作品制作1 (9) 作品制作2 (10) 作品制作3 (11) 中間講評会 (12) 作品制作4 (13) 作品制作5 (14) 作品制作6 (15) 講評会				
3. 教授法	ドローイングによる演習によって、材料と表現の可能性を知る。また、外部の職人、または企業、有識者による講義、実演を通して現在における素材表現について知る。最終的には自身の作品に応用できる力を身につける。最終日には作品の講評会を行い創造と表現、技法材料の関係を発表する。				
4. 評価方法	授業出席と発言 出席			50% 50%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	国際時事問題研究Ⅰ			講 師	梅田
対象学年	2	単位数	2	講義形態	講義
1. 講義の目標	本授業は、文化についてその概念を理解した上で、日本文化の代表的とされるものを事例として取り上げて解説する。しかしながら、日本文化と言ってもその範囲、種類は多岐にわたる。そこで本授業では、海外でも関心が持たれるものを取り上げ、その概要を解説する。その際、より具体的な事例を取り上げ、その事例を中心に検討し、持つ意味などを解説する。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 表現 (3) 宗教観 (4) 労働観 (5) 死生観 (6) 少子化と地方 (7) AIと現代社会 (8) ハラスメント (9) 税と社会保障 (10) 現代日本へ入った異文化 (11) 異文化としての日本文化 (12) 映像（１） (13) 映像（２） (14) 復習（１） (15) 復習（２）				
3. 到達目標	① 日本人の行動原理を理解する。 ② 現代日本社会の課題について、背景などを理解する。				
4. 評価方法	授業参加度（出席、授業中の発言等） 50% 期末試験 50% 合計 100%				
5. テキスト	特定の教科書等は使用せず、必要に応じてレジュメなどを配布する。				
6. 履修上の留意事項	・担当教員は実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	国際時事問題研究Ⅱ			講 師	梅田
対象学年	2	単位数	2	講義形態	講義
1. 講義の目標	本授業では、社会的な事象を取り上げ、その事象の背景を取り上げ、その分析、評価の方法を身に付けることを目的とする。社会で起きる現象には、必ず、複数の原因が存在するものの、その見方、あるいは、分析、評価の方法については理解されていないことが多い。そこで、具体的な事例を取り上げながら、社会的な事象の分析の方法などを解説する。				
2. 講義内容	(1) 迷信の国際比較 (2) 自然災害と社会 (3) インバウンドとオーバーツーリズム (4) 国際化と日本社会 (5) 世界の浮世絵の出会い (6) 聖書の物語 (7) 宗教画の世界 (8) 贋作と世界史 (9) 金融商品としての絵画 (10) 絵画とイメージ戦略 (11) 技術革新と絵画 (12) 映像（１） (13) 映像（２） (14) 復習（１） (15) 復習（２）				
3. 到達目標	① 現代日本社会の課題について、背景などを理解する。 ② 世界史における芸術の位置づけを理解する。				
4. 評価方法	授業参加度（出席、授業中の発言等） 50% 期末試験 50% 合計 100%				
5. テキスト	特定の教科書等は使用せず、必要に応じてレジュメなどを配布する。				
6. 履修上の留意事項	・担当教員は実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	イラストレーションⅢ			講 師	コース担任
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1．講義の目標	現在の情報化社会では、文字情報を補助するイラストレーションや絵画などが多く利用されている。そして、この図形、絵による視覚情報がこれからのデザインにおいて重要であることを理解、表現できることを目標とする。				
2．講義内容	(1) オリエンテーション (2) 絵画・イラストレーション概論 (3) 絵画・イラストレーション演習1 (4) 絵画・イラストレーション演習2 (5) 絵画・イラストレーション演習3 (6) 絵画・イラストレーション演習4 (7) プレゼンテーションと講評会 (8) 個別の自由制作1（導入・取材） (9) 個別の自由制作2（ドローイング・エスキース） (10) 個別の自由制作3（試作・プロタイプの作成） (11) 個別の自由制作4（試作・プロタイプの作成） (12) 個別の自由制作5（実制作） (13) 個別の自由制作6（実制作） (14) 個別の自由制作7（実制作） (15) プレゼンテーションと講評会				
3．到達目標	絵の社会に対する役割、言葉ではない伝達方法の可能性、AIには生み出すことができないオリジナルとして表現、構想、創造を演習を通して理解する。ポートフォリオ作成につながるオリジナリティー溢れる作品が制作できる実習課題をこなしていく。				
4．評価方法	授業出席			30%	
	授業への参加（発言・課題への取り組み）			70%	
	合計			100%	
5．テキスト	プリントを配布				
6. 履修上の留意事項	・ 授業は座学と自習の組み合わせで行う。 ・ 必ず実習のための画材、エスキース帳は用意すること。 ・ 担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	イラストレーションⅣ			講 師	コース担任
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	現在の情報化社会では、文字情報を補助するイラストレーションなどが多く利用されている。そして、この図形、絵による視覚情報がこれからのデザインにおいて重要であることを理解、表現できることを目標とする。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 個別の自由制作1（導入・取材） (3) 個別の自由制作2（導入・取材） (4) 個別の自由制作3（ドローイング・エスキース） (5) 個別の自由制作4（ドローイング・エスキース） (6) 個別の自由制作5（試作・プロタイプの作成） (7) 個別の自由制作6（試作・プロタイプの作成） (8) プレゼンテーションと検討会 (9) 個別の自由制作6（ブラッシュアップと実制作） (10) 個別の自由制作7（実制作） (11) 個別の自由制作8（実制作） (12) 個別の自由制作9（実制作） (13) 個別の自由制作10（実制作） (14) 個別の自由制作11（実制作） (15) プレゼンテーションと講評会				
3. 到達目標	絵の社会に対する役割、言葉ではない伝達方法の可能性、AIには生み出すことができないオリジナルとして表現、構想、創造を演習を通して理解する。ポートフォリオ作成につながるオリジナリティー溢れる作品が制作できる実習課題をこなしていく。				
4. 評価方法	授業出席			30%	
	授業への参加（発言・課題への取り組み）			70%	
	合計			100%	
5. テキスト	プリントを配布				
6. 履修上の留意事項	・授業は座学と自習の組み合わせで行う。 ・必ず実習のための画材、エスキース帳は用意すること。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	ポップカルチャー研究Ⅰ			講 師	コース担任
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	日本で独自に発展した平面文化の特質を知るために、各専攻の実習を通して表現に関する知識の幅を広げる。現代の文化がこれまでの芸術文化と歴史的にどのようなつながりを持っているかを理解する。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 図法講義：平面表現を構成するパースについて (3) 構図講義：平面の画に奥行きをもたらす技術 (4) 色彩講義：色彩による表現 (5) 構成講義：独特のリアリティを生み出す構成 (6) 各専攻での個別課題1 (7) 各専攻での個別課題2 (8) 各専攻での個別課題3 (9) 各専攻での個別課題4 (10) 各専攻での個別課題：講評 (11) 各専攻での個別課題5 (12) 各専攻での個別課題6 (13) 各専攻での個別課題7 (14) 各専攻での個別課題8 (15) 各専攻での個別課題：講評				
3. 教授法	現在の漫画、アニメなどの平面文化が社会に定着していることを踏まえ、美術全般におけるこれらの平面文化の役割を考える。特別講師として漫画家、イラストレーター、アーティストの先生を迎え、社会で通用する美術表現をもとにして日本のポップカルチャーを知る。毎課題ごとに講評会とプレゼンテーションを行う。授業での質疑応対に積極的に参加することを期待します。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の課題提出			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科		
科目名	ポップカルチャー研究Ⅱ		講 師	コース担任
対象学年	2	単位数	2	講義形態 実習
1. 講義の目標	日本で独自に発展した平面文化の特質を知るために、各専攻の実習を通して表現に関する知識の幅を広げる。現代の文化がこれまでの芸術文化と歴史的にどのようなつながりを持っているかを理解する。			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 各専攻での個別課題9（課題検討・取材） (3) 各専攻での個別課題10 (4) 各専攻での個別課題11 (5) 各専攻での個別課題12 (6) 各専攻での個別課題：講評 (7) 各専攻での自主制作課題13（研究課題の検討・取材） (8) 各専攻での自主制作課題14（取材） (9) 各専攻での自主制作課題15（取材、ドローイング、プロトタイプ） (10) 全体検討会 (11) 各専攻での自主制作課題17（実制作） (12) 各専攻での自主制作課題18（実制作） (13) 各専攻での自主制作課題19（実制作） (14) 各専攻での自主制作課題20（実制作） (15) プレゼンテーションと講評会			
3. 教授法	現在の漫画、アニメなどの平面文化が社会に定着していることを踏まえ、美術全般におけるこれらの平面文化の役割を考える。特別講師として漫画家、イラストレーター、アーティストの先生を迎え、社会で通用する美術表現をもとにして日本のポップカルチャーを知る。毎課題ごとに講評会とプレゼンテーションを行う。授業での質疑応対に積極的に参加することを期待します。			
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の課題提出		30% 70%	
	合計		100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。			
6. 参考文献	適宜に指定します。			
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			

2026年度	前・後期	国際コミュニケーション学科		
科目名	卒業研究			講 師 三上・根本
対象学年	2	単位数	3	講義形態 実習
1. 講義の目標	各専攻の特色と技法などを踏まえ、自らが想像する世界観を表現できる力を養う。また、普段の制作では取り組むことのできない大型の作品や多くの調査を必要とする作品を制作し、自分の可能性を広げることを目標とする。			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 実技演習① 作品案検討 (3) 実技演習② プレゼンテーション (4) 作品制作実習・研究論文制作③ (5) 作品制作実習・研究論文制作④ (6) 作品制作実習・研究論文制作⑤ (7) 作品制作実習・研究論文制作⑥ (8) 作品制作実習・研究論文制作⑦ (9) 作品制作実習・研究論文制作⑧ (10) 作品制作実習・研究論文制作⑨ (11) 作品制作実習・研究論文制作⑩ (12) 作品制作実習・研究論文制作⑪ (13) 作品制作実習・研究論文制作⑫ (14) 作品制作実習・研究論文制作⑬ (15) 講評会（作品展示）			
3. 教授法	各専攻の研究内容にあわせた大型作品制作または個別カリキュラムによる作品制作。2年生に向けて自分の研究主体となるものを選択し、その背景までを含めて調査する。その中から選ばれた要素をもとにして、一つの作品としてまとめ上げる。平面作品、立体作品は問わない。作品は、外部美術館等で展示を行い、展示会場の設営、運営、解説までを行う。平面作品、立体作品は問わない。			
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の課題提出 合計			30% 70% 100%
5. テキスト	適宜プリントを配布します。			
6. 参考文献	適宜に指定します。			
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	造形総合演習 I			講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	ファインアート専攻では素描と絵画の両面で必要な基礎的な技術を身に付け、デザイン専攻ではデザインの基礎能力、社会問題の可決能力を身につける。基礎能力をボトムアップすることで最終的な表現能力向上に結びつける。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題1（基礎） (3) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題2（基礎） (4) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題3（基礎） (5) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題4（基礎） (6) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題5（基礎） (7) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題6（基礎） (8) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題7 (9) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題8 (10) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題9 (11) 中間講評会・プレゼンテーション (12) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題10 (13) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題11 (14) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題12 (15) 合同講評会				
3. 教授法	コースごとの研究領域に応じたカリキュラムに合わせて、年間を通した作品制作と課題ごとの講評を行う。課題数、講評回数はコースの研究内容に合わせて異なるが、学期末には合同講評を行う。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。授業での質疑応対に積極的に参加することを期待します。				
4. 評価方法	授業出席と発言				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	造形総合演習Ⅱ			講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	ファインアート専攻では素描と絵画の両面から技術を身に付け、デザイン専攻ではデザインの基礎能力、論文による問題可決能力を身につける。基礎能力をボトムアップすることで最終的な表現能力向上に結びつける。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題13 (3) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題14 (4) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題15 (5) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題16 (6) 中間講評会・プレゼンテーション (7) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題17 (8) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題18 (9) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題19 (10) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題20 (11) 中間講評会・プレゼンテーション (12) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題21 (13) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題22 (14) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題23 (15) 合同講評会				
3. 教授法	個別面談を通して、各自の研究領域を確認する。研究領域に応じたカリキュラムを作成し、年間を通して制作と講評を行う。課題数、講評回数は研究内容に合わせて異なるが、学期末には合同講評を行う。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。授業での質疑応対に積極的に参加することを期待します。				
4. 評価方法	授業出席と発言 30% 授業中の参加度、課題提出 70% 合計 100%				
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	造形総合演習Ⅲ			講 師	コース担当
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	ファインアート専攻では油絵、日本画の絵画作品の制作を通して表現力を身につける。デザイン専攻ではグラフィック、イラストレーションなど各専門研究領域の作品を制作することにより社会通用するデザイナーとしての素地を作り上げる。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題1（応用） (3) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題2（応用） (4) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題3（応用） (5) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題4（応用） (6) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題1 (7) 絵画・デザイン（コース別）での自由選択課題2 (8) 絵画・デザイン（コース別）での自由選択課題3 (9) 絵画・デザイン（コース別）での自由選択課題4 (10) 絵画・デザイン（コース別）での自由選択課題5 (11) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題5（応用） (12) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題6（応用） (13) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題7（応用） (14) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題8（応用） (15) 合同講評会				
3. 教授法	個別面談を通して、各自の研究領域を確認する。卒業後の創作活動、企業でのデザインワークに合わせてカリキュラムを作成し、年間を通して制作と講評を行う。課題数、講評回数は研究内容に合わせて異なるが、学期末には合同講評を行う。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出 合計			30% 70% 100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	造形総合演習Ⅳ			講 師	コース担当
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	ファインアート専攻では油絵、日本画の絵画作品の制作を通して表現力を身につける。デザイン専攻ではグラフィック、イラストレーションなど各専門研究領域の作品を制作することにより社会通用するデザイナーとしての素地を作り上げる。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題1（応用） (3) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題2（応用） (4) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題3（応用） (5) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題4（応用） (6) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題1 (7) 絵画・デザイン（コース別）での自由選択課題2 (8) 絵画・デザイン（コース別）での自由選択課題3 (9) 絵画・デザイン（コース別）での自由選択課題4 (10) 絵画・デザイン（コース別）での自由選択課題5 (11) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題5（応用） (12) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題6（応用） (13) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題7（応用） (14) 絵画・デザイン（コース別）での作品制作課題8（応用） (15) 合同講評会				
3. 教授法	個別面談を通して、各自の研究領域を確認する。卒業後の創作活動、企業でのデザインワークに合わせてカリキュラムを作成し、年間を通して制作と講評を行う。課題数、講評回数は研究内容に合わせて異なるが、学期末には合同講評を行う。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。授業での質疑応対に積極的に参加することを期待します。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出 合計				30% 70% 100%
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科		
科目名	構成演習 I		講 師	コース担任
対象学年	1	単位数	2	講義形態 実習
1. 講義の目標	ファインアート専攻では絵画表現における構成と色彩の関係を探ることで自身の自己表現へ結びつける。デザイン専攻ではグラフィックデザイン、イラストレーションなどにおける構成の手法と色彩の関係を習得する。			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 絵画の構成に関する講義（グラフィックデザインはポスター構成） (3) 構成課題1（基礎） (4) 構成課題2（基礎） (5) 構成課題3（基礎） (6) プレゼンテーションと講評会 (7) ファインアート・デザイン専攻での個別カリキュラム1 (8) ファインアート・デザイン専攻での個別カリキュラム2 (9) ファインアート・デザイン専攻での個別カリキュラム3 (10) ファインアート・デザイン専攻での個別カリキュラム4 (11) プレゼンテーションと講評会 (12) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題6（基礎） (13) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題7（基礎） (14) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題8（基礎） (15) プレゼンテーションと講評会□			
3. 教授法	個別面談を通して、各自の研究領域を確認する。研究領域に応じた課題を選択し、作品制作を行う。作品は、年間を通して講評を行うが、その課題数、講評回数は研究内容に合わせて異なる。学期末には合同講評を行う。課題制作後は、プレゼンテーションと講評会という形で各自作品の検証を行う。			
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出		30% 70%	
	合計		100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。			
6. 参考文献	適宜に指定します。			
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	構成演習Ⅱ			講 師	コース担任
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	ファインアート専攻では絵画表現における構成と色彩の関係を探ることで自身の自己表現へ結びつける。デザイン専攻ではグラフィックデザイン、イラストレーションなどにおける構成の手法と色彩の関係を習得する。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題1（応用） (3) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題2（応用） (4) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題3（応用） (5) プレゼンテーションと講評会 (6) ファインアート・デザイン専攻での個別カリキュラム1 (7) ファインアート・デザイン専攻での個別カリキュラム2 (8) ファインアート・デザイン専攻での個別カリキュラム3 (9) ファインアート・デザイン専攻での個別カリキュラム4 (10) プレゼンテーションと講評会 (11) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題5（基礎） (12) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題6（基礎） (13) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題7（基礎） (14) ファインアート・デザイン専攻での自由選択課題8（基礎） (15) プレゼンテーションと講評会□				
3. 教授法	個別面談を通して、各自の研究領域を確認する。研究領域に応じた課題を選択し、作品制作を行う。作品は、年間を通して講評を行うが、その課題数、講評回数は研究内容に合わせて異なる。学期末には合同講評を行う。課題制作後は、プレゼンテーションと講評会という形で各自作品の検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	構成演習Ⅲ			講師	コース担当
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	油絵、日本画、グラフィックデザイン、イラストレーション、漫画キャラクターデザイン、企画理論、デザイン総合の8コースごとの専門的な課題から構成の重要性とメッセージ性について学ぶ。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) コース別課題1 (3) コース別課題2 (4) コース別課題3 (5) 講評会・プレゼンテーション (6) コース別課題4 (7) コース別課題5 (8) コース別課題6 (9) コース別課題7 (10) 講評会・プレゼンテーション (11) コース別課題8 (12) コース別課題9 (13) コース別課題10 (14) コース別課題11 (15) 講評会・プレゼンテーション				
3. 教授法	技法や表現に頼ることなく、構成の重要要素である明度計画、配置、奥行き、目線を使用しながら、自ら作品の中で伝えたいメッセージまたは課題の意図を表現できる技術を身につける。 作品制作の中では中間講評、デモンストレーション、習熟度に合わせた講義などを交えて個別の表現を極めていく。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出 合計			30% 70% 100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	構成演習Ⅳ			講 師	コース担当
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	油絵、日本画、グラフィックデザイン、イラストレーション、漫画キャラクターデザイン、企画理論、デザイン総合の8コースごとの専門的な課題から構成の重要性とメッセージ性について学ぶ。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) コース別課題1 (3) コース別課題2 (4) コース別課題3 (5) 講評会・プレゼンテーション (6) コース別課題4 (7) コース別課題5 (8) コース別課題6 (9) コース別課題7 (10) 講評会・プレゼンテーション (11) コース別課題8 (12) コース別課題9 (13) コース別課題10 (14) コース別課題11 (15) 講評会・プレゼンテーション				
3. 教授法	技法や表現に頼ることなく、構成の重要要素である明度計画、配置、奥行き、目線を使用しながら、自ら作品の中で伝えたいメッセージまたは課題の意図を表現できる技術を身につける。 作品制作の中では中間講評、デモンストレーション、習熟度に合わせた講義などを交えて個別の表現を極めていく。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出 合計			30% 70% 100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	造形専門演習 I			講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	油絵では油彩、インスタレーション、日本画では岩絵具、絹本、グラフィックデザインではブランディング、ポスターデザイン、イラストレーションではアナログイラスト、デジタルイラスト、その他コースにおいても専門的に必要な知識と技術を身に付け、各自が各分野の専門家として活躍できる力を身につける。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 各専攻・専門分野：表現・技法・材料講義と解説 (3) 各専攻・専門分野：作品制作1（個別カリキュラム） (4) 各専攻・専門分野：作品制作2（個別カリキュラム） (5) 各専攻・専門分野：作品制作3（個別カリキュラム） (6) 各専攻・専門分野：作品制作4（個別カリキュラム） (7) 各専攻・専門分野：講評 (8) 各専攻・専門分野：作品制作5（個別カリキュラム） (9) 各専攻・専門分野：作品制作6（個別カリキュラム） (10) 各専攻・専門分野：作品制作7（個別カリキュラム） (11) 各専攻・専門分野：講評 (12) 各専攻・専門分野：作品制作8（個別カリキュラム） (13) 各専攻・専門分野：作品制作9（個別カリキュラム） (14) 各専攻・専門分野：作品制作10（個別カリキュラム） (15) 各専攻・専門分野：講評				
3. 教授法	学生の研究内容に合わせて個別に指導、個別にデモンストレーションを行いながら作品を制作する。課題数、講評回数は研究内容に合わせて異なる。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科			
科目名	造形専門演習Ⅱ			講 師	コース担当
対象学年	1	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	油絵では油彩、インスタレーション、日本画では岩絵具、絹本、グラフィックデザインではブランディング、ポスターデザイン、イラストレーションではアナログイラスト、デジタルイラスト、その他コースにおいても専門的に必要な知識と技術を身に付け、各自が各分野の専門家として活躍できる力を身につける。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 各専攻・専門分野：表現・技法・材料講義と解説 (3) 各専攻・専門分野：作品制作11（個別カリキュラム） (4) 各専攻・専門分野：作品制作12（個別カリキュラム） (5) 各専攻・専門分野：作品制作13（個別カリキュラム） (6) 各専攻・専門分野：作品制作14（個別カリキュラム） (7) 各専攻・専門分野：講評 (8) 各専攻・専門分野：作品制作15（個別カリキュラム） (9) 各専攻・専門分野：作品制作16（個別カリキュラム） (10) 各専攻・専門分野：作品制作17（個別カリキュラム） (11) 各専攻・専門分野：講評 (12) 各専攻・専門分野：作品制作18（個別カリキュラム） (13) 各専攻・専門分野：作品制作19（個別カリキュラム） (14) 各専攻・専門分野：作品制作20（個別カリキュラム） (15) 各専攻・専門分野：講評				
3. 教授法	学生の研究内容に合わせて個別に指導、個別にデモンストレーションを行いながら作品を制作する。課題数、講評回数は研究内容に合わせて異なる。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。授業での質疑応対に積極的に参加することを期待します。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	前期	国際コミュニケーション学科			
科目名	造形専門演習Ⅲ			講 師	コース担当
対象学年	2	単位数	2	講義形態	実習
1. 講義の目標	油絵では油彩、インスタレーション、日本画では岩絵具、絹本、グラフィックデザインではブランディング、ポスターデザイン、イラストレーションではアナログイラスト、デジタルイラスト、その他コースにおいても専門的な知識と技術を応用し、自らの制作に結びつけることで、自らの作品表現を探究する。				
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 各専攻・専門分野：作品制作1（個別カリキュラム） (3) 各専攻・専門分野：作品制作2（個別カリキュラム） (4) 各専攻・専門分野：作品制作3（個別カリキュラム） (5) 各専攻・専門分野：作品制作4（個別カリキュラム） (6) 各専攻・専門分野：作品制作5（個別カリキュラム） (7) 各専攻・専門分野：作品制作6（個別カリキュラム） (8) 各専攻・専門分野：講評（プレゼンテーション形式） (9) 各専攻・専門分野：研究制作1 (10) 各専攻・専門分野：研究制作2 (11) 各専攻・専門分野：研究制作3 (12) 各専攻・専門分野：研究制作4 (13) 各専攻・専門分野：研究制作5 (14) 各専攻・専門分野：研究制作6 (15) 各専攻・専門分野：講評（プレゼンテーション形式）				
3. 教授法	学生の研究内容に合わせて個別に指導、個別にデモンストレーションを行いながら自らが研究する作品を制作する。課題数、講評、プレゼンテーションの回数は研究内容に合わせて異なる。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。				
4. 評価方法	授業出席と発言 授業中の参加度、課題提出			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	適宜プリントを配布します。				
6. 参考文献	適宜に指定します。				
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。				

2026年度	後期	国際コミュニケーション学科		
科目名	造形専門演習Ⅳ		講 師	コース担当
対象学年	2	単位数	2	講義形態
1. 講義の目標	油絵では油彩、インスタレーション、日本画では岩絵具、絹本、グラフィックデザインではブランディング、ポスターデザイン、イラストレーションではアナログイラスト、デジタルイラスト、その他コースにおいても専門的な知識と技術を応用し、自らの制作に結びつけることで、自らの作品表現を探究する。			
2. 講義内容	(1) オリエンテーション (2) 各専攻・専門分野：研究制作7 (3) 各専攻・専門分野：研究制作8 (4) 各専攻・専門分野：研究制作9 (5) 各専攻・専門分野：研究制作10 (6) 各専攻・専門分野：研究制作11 (7) 各専攻・専門分野：研究制作12 (8) 各専攻・専門分野：講評（プレゼンテーション形式） (9) 各専攻・専門分野：研究制作13 (10) 各専攻・専門分野：研究制作14 (11) 各専攻・専門分野：研究制作15 (12) 各専攻・専門分野：研究制作16 (13) 各専攻・専門分野：研究制作17 (14) 各専攻・専門分野：研究制作18 (15) 各専攻・専門分野：講評（プレゼンテーション形式）			
3. 教授法	学生の研究内容に合わせて個別に指導、個別にデモンストレーションを行いながら自らが研究する作品を制作する。課題数、講評、プレゼンテーションの回数は研究内容に合わせて異なる。課題制作後は、講評会という形で各自作品の検証を行う。			
4. 評価方法	授業出席と発言 30% 授業中の参加度、課題提出 70% 合計 100%			
5. テキスト	適宜プリントを配布します。			
6. 参考文献	適宜に指定します。			
7. 履修上の留意事項	・実習制作に必要な道具一式をご用意ください。 ・エスキース、講評内容を控えるエスキース帳をご用意ください。 ・担当教員はデザイナー・イラストレーター・漫画家としての実務経験を基に、実技から講義まで幅広い授業を展開する。			